

## PM理論 PM Theory of Leadership

リーダーシップ行動論の1つ。日本の社会心理学者、三隅二不二（みすみ じゅうじ）が1966年に提唱したPM理論とは、リーダーシップをP:Performance「目標達成能力」とM:Maintenance「集団維持能力」の2つの能力要素で構成されるとし、目標設定や計画立案、メンバーへの指示などにより目標を達成する能力（P）と、メンバー間の人間関係を良好に保ち、集団のまとまりを維持する能力（M）の2つの能力の大小によって、4つのリーダーシップタイプ（PM型、Pm型、pM型、pm型）を提示し、PとMが共に高い状態（PM型）のリーダーシップが望ましい、とした理論。

PM型（P・M共に大きい）

目標を明確に示し、成果をあげられると共に集団をまとめる力もある理想型

Pm型（Pが大きく、Mが小さい）

目標を明確に示し、成果をあげるが、集団をまとめる力が弱い。

成果はあげるが人望がないタイプ

pM型（Pが小さく、Mが大きい）

集団をまとめる力はあるが、成果をあげる力が弱い。

人望はあるが、仕事は今ひとつというタイプ

pm型（Pが小さく、Mも小さい）

成果をあげる力も、集団をまとめる力も弱い。リーダー失格タイプ。

